



# Voice Report



## 「従業員の安全と健康を守る取り組みを推進する」

### 『長崎南部森林組合』



- 代表理事組合長 田中 一樹 氏
- 本社所在地 長崎県大村市大川田町990番地1
- 主な事業内容 林業（森林の植栽・保育・間伐・主伐、作業道開設） 製材業
- 従業員数 96名（男性91名、女性5名）
- **健康経営優良法人 2020（中小企業法人部門）認定**

森林組合は、「森林組合法」によって設立され、森林所有者が組合員となり、林業の発展をめざす協同組合です。森林が有する木材生産、水資源の涵養、災害防止、国土保全、地球温暖化防止等の公益的機能を高度に発揮させるため、森林整備を積極的に行い、豊かな森林づくりと地域の森林・林業・木材産業の発展に大きく貢献できる組合を目指しています。

### 労災の防止と健康経営に取り組む

平成28年3月に組合長となり、従業員の労災の防止と健康で長く勤めてもらう対策を考えていました。労災は、安全講習会や安全教育の受講、高性能林業機械の配置を増やし減少しています。健康面では、全員が受診した検診結果で問題がある従業員が、事務職で約7割、森林技術員で約4割と高くなっていました。「健康経営セミナー」へ参加し、健康経営の必要性をアドバイスいただき、従業員の健康促進に取り組むことになりました。

### 健康経営の具体的な取り組み

毎年1月に行う各支所の安全講習会で、アクサ生命の健康経営アドバイザーに健康増進をテーマとした講演をお願いしています。生活習慣病予防検診の結果に問題がある従業員には精密検査を出勤認定として受診するように督促を行い、従業員を支える家族も組合負担で受診できるようにしました。風疹の抗体検査や50歳以上の男性従業員には前立腺がん検診を受診させています。森林技術員は森林内での就業で危険が伴いますので、始業前のミーティングとストレッチは必ず行っています。新型コロナウイルス対策として、マスク、手指消毒、検温を行い、受付カウンターには自作の木製飛沫感染パーテーションを置いています。



問合せ先・担当者

### 健康経営の成果

健康経営の取り組みを始めて、安全講習会や全員会議の折に健康促進について触れるようにしており、健康への意識が高まりつつあると感じています。特定保健指導は対象者全員が受け、精密検査を自費で受診する従業員が増えています。近年、3名の従業員が「がん治療」で入院・通院していましたが、病気休暇、休職期間（最長2年）を経て、復職後は面談を行い、勤務時間・作業内容等の配慮や支援を行う制度を作りました。

毎年実施しているストレスチェックでは、「職場の雰囲気は友好的である」94%、「働きがいのある仕事だ」95%、「仕事に満足だ」85%と高評価であり、今後一層、安全と健康に取り組んでいきます。

### 従業員の安全管理と健康管理は経営者の役割

健康経営を実践するメリットは、従業員のモチベーションアップ（良好なコミュニケーションで職場が明るくなり、やる気が向上する）、労働生産性の向上とコスト削減（欠勤率、長期休業者の低下）、企業イメージアップ（健康や働き方への配慮、採用に有利）など、労災防止のための安全管理のメリットと同様です。経営者は積極的に従業員の安全と健康に取り組まなければならないと思います。

### 今後の取り組みについて

森林環境譲与税の事業が加速化されることにより、森林整備の事業量が増大しますので、従業員の増員・確保が必要になってきます。毎年、新卒者を含む若年者を採用していますが、ベテラン従業員ともに長く勤めてもらうために、快適な職場環境をつくり、安全と健康に配慮し、健全な経営を維持していきたいと考えています。